



九州ブロック P T A 研究大会報告



分科会の様子



分科会協議結果報告

④ 子ども・教師・保護者が一体となって！町 P T A 活動研究大会

2月14日（土）、町中央公民館において、『大崎町 P T A 活動研究大会』が行われました。

大会は、町内の小・中学校の先生や保護者などで構成する『大崎町 P T A 連絡協議会』（会長：新小倉龍一さん）が主催したもので、今回は、『心豊かでたくましい子どもを育てる P T A 活動をめざして』を研究主題とし、約 190 名の参加のもと、開催されました。

大会は昨年 8 月に行われた、『第 59 回九州ブロック P T A 研究大会長崎大会』（長崎県長崎市）の活動報告が行われた後、分科会が実施されました。

分科会では、出席者を 3 つの班に分け、討議の柱（テーマ）として、①『明るいあいさつの推進』、②『携帯・スマホ・ネット』、③『早寝・早起き・朝ごはんの推進』で協議が行われ、各学校・家庭での取組状況や課題、そして今後の対応策など活発な意見や発言が出ていました。

出席者からは、「子どもだけでなく、親も一緒になって取り組んでいきたい。」との声が聞かれました。

③ 4組のカップルが誕生！畑で恋活

2月1日（日）、安田農園ふれあい市場内のいちご園において、『第2回畑で恋活 in 大崎町』が行われ、女性 16 名・男性 18 名、合計 34 名の参加があり、遠くは都城市からの参加もありました。

このイベントは、町内で農業に従事している 20～30 代の農家で組織する大崎町農業青年倶楽部が主催したもので、農業体験などを通じて参加者らと交流（恋愛活動＝恋活）を深めようと企画され、今回で 2 回目の開催となりました。

初めのうちは戸惑いや緊張などで参加者同士の距離感がありましたが、イチゴ狩りや収穫したイチゴを使ってのイチゴ大福作りをしていく中で、打ち解けあい、笑顔や笑い声なども聞こえるようになり、和やかな雰囲気作業が進んでいきました。

交流会では、自分たちで収穫・作製したイチゴやイチゴ大福を堪能し、メインイベントの『告白タイム』では、4組のカップルが成立・誕生しました。